

## 2013年度第2回煙制御計画小委員会 議事録(案)

記録担当 中濱

A. 日時 2013年5月24日(金) 18:00~20:15

B. 場所 建築会館 201会議室

C. 出席者 山田主査, 森山, 広田, 鈴木, 峯岸, 油野, 長岡, 平田, 中濱

計9名(順序不同, 敬称略)

### D. 提出資料

No. 2-1: 第2回煙小委議事次第, No. 2-2: 2013年第1回\_議事録案,

No. 2-3: 防火部会研究協議会未定稿案, No. 2-4: 改訂煙指針の概要と担当者リスト

(以上資料, 山田主査)

No. 2-5: 火災誌原稿寄稿のお願い(鈴木委員), No. 2-6: 図7.1.4の修正(森山委員)

他 改訂煙本の最終原稿案(各章主担当者)各自印刷

### E. 審議事項

#### 1. 新メンバーの紹介

・今回から, 平田裕信氏(日建設計)が参画することになった。

#### 2. 前回議事録案の確認(資料 No. 2-2)

・特に問題なく了承された。見直す点があれば, 中濱まで連絡する。なければ(案)を取る。

#### 3. HP 更新状況報告

・現在 AIJ 森田氏が管理, うまくリンクが張られていない状況。本委員会で状況を聞く。

・HP 上で, 本小委員会の活動計画や実績, 議事録の公開を予定。峯岸委員が担当。

#### 4. 防火部門研究協議会の概要報告(資料 No. 2-3)

・防火部門の研究協議会「2000年以降の防火設計の実態と防火技術の展望」のプログラムおよび山田主査担当の原稿案の報告があった。

・これまでも何回か性能規定関連のシンポジウムは開催されたが, 今回は今後どうしていくべきかという点まで報告していきたい。

・7月中旬の本委員会後, 研究協議会での掲載意見の募集をお願いするかもしれない。

#### 5. その他(資料 No. 2-5)

・鈴木委員から, 「特集・最近の煙制御システムの動向(案)」(火災誌10月号掲載予定)の執筆依頼があった。原稿締切は8/9。執筆者は, 山田主査, 峯岸委員, 森山委員, 鈴木委員 or 水落氏, 中濱を予定。鈴木委員から各執筆担当者にテンプレート等の資料が送付される予定。

・防火部門の懇親会は8/31(土)19時頃を予定(札幌第一ホテル)。懇親会の前に, 吉田氏(竹中工務店)の学会賞受賞の講演会が開催される予定(会場は懇親会場と同じホテルの別室)。後日案内がされる予定。

・空衛学会の火災安全小委員会にて, 排煙設備の実務対応を検討予定。そのネタとして本小委

員会の改訂煙本を参考として良いか。→ 特に問題なく、了承された。

- ・大会学術講演会 PG 原稿はまだ公開されていないが、以下で確認が可能。現在、司会と福祉会を依頼中。

<http://www.gakkai-web.net/gakkai/aij/session13/>

## 6. 改訂煙本の進捗確認

### <全体>

- ・4月末、近畿支部に改訂煙本の原稿案を送付。田中先生から、以下のコメントを頂いた。
  - ① タイトルの英訳：“Smoke Management for ～”→“Smoke Management Design of ～”または“Smoke Control Design of ～”が良いのでは。  
→ “Smoke Management and Design of ～”を提案してみる。
  - ② 図 2.4.9 の圧力差の具体的記述 → 対応済み
  - ③ 図 3.5.7 の給気口の図の解説（典型的な例示 大洋デパート火災の写真）→ 今後対応
  - ④ 参考文献の充実 → 2,3,5 章で充実を図る。
- ・改訂煙本の査読者は、笠原氏、上原氏、矢代氏、大矢氏（鹿島）を本委員会で提案予定。

### <第1章：鈴木委員バックチェック→長岡委員>

- ・1頁：「不燃建物」という言葉は一般的でないかもしれないが、このままの表現とする。
- ・14頁：煙制御の方法の順番を見直す。（蓄煙方式を2番目に移動）

### <第2章：広田委員バックチェック→山田主査>

- ・煙制御を大きく括る場合は、煙制御の「方法」、具体的な内容の場合は煙制御の「方式」という表現にする。（既に2章では修正済み）
- ・22頁：様々なシステムでの対応を考慮して、「出火の恐れのある室は給気室とすべきでない」という表現に、「総体的に、出火時や漏煙時等の排煙も考慮し、給気のみとすべきでない」を加えた。
- ・43頁：「ダクト方式」という表現は、「ダクト横引き排煙口方式」に変更する。

### <第3章：油野委員、山田主査バックチェック→森山委員>

- ・「遮煙性能を有する」、「～の恐れ」等の表記を統一した。
- ・掲載した図の表の解説は、本文中に記載させる。 ・93頁：図 3.3.4 が2つある。
- ・99頁：手動開放装置の記述、廊下に1個設置ではダメか。「または共通の廊下に設置」程度の表現とする。
- ・103頁,119頁：耐火ダクトに関して、ロックウールは120kg/m<sup>3</sup>以上を推奨するとの表現を加える。また、耐火ダクトの加熱実験に関するAIJ梗概を参考文献として加える。
- ・153頁：排煙設備等に関する制御において、制御盤の違いは案を考える予定。
- ・3.7章までは山田主査、3.8章以降は森山委員が、変更を行う。

### <第4章：中濱バックチェック→峯岸委員>

- ・修正箇所は、細かい表現や図のズレのみ。内容を確認し、修正すべき部分は修正する。

#### <第5章：長岡委員バックチェック→鈴木委員>

- ・224頁：熱伝導に関する記述と説明式（5.3.8～5.3.9）との整合を再確認する。
- ・「室」または「室内」の言葉の表記は、鈴木委員に一任する。

#### <第6章：峯岸委員バックチェック→中濱>

- ・文章の言い回しは出来る限り指摘に対応する。6.4.1節の $h$ 総合熱伝達率は $h_k$ 実効～に変更。
- ・247頁：本来、排煙口と給気口の面積比を決めて計算すると思われる。ただし、今回の計算例では給気口を2 m<sup>2</sup>固定で計算したものとする。

#### <第7章：森山委員バックチェック→山田主査>

- ・図7.1.4を森山委員が分かり易い内容に変更。この図に張り替える。

### 3. 今後の進め方・スケジュール

- ・6/28までに、指摘事項を直した原稿を関係者にメールにて送付する。
- ・なお、資料を保管するためのオンラインストレージが開設された。  
各委員サインインをお願いします。
  - ・委員会用オンラインストレージ：<http://www.aij.or.jp/commstrage.html>
  - ・利用方法：[http://www.aij.or.jp/jpn/databox/2013/how\\_to\\_use\\_online\\_strage.pdf](http://www.aij.or.jp/jpn/databox/2013/how_to_use_online_strage.pdf)

---

次回の委員会は、2013年7月4日（木）18:00～20:30まで、本会会議室で開催します。

議題（1）改訂煙本の最終原稿案の内容確認

（2）その他話題提供 等

---